

「チームつばき」の心をつなぐ、一本の襟

教頭 石田 雅人

「つなぐ」「襟」と言えば、駅伝です。10月4日(土)に開催された『富山県中学校駅伝競走大会』に、今年は男子と女子の2チームが参加しました。保健体育科の授業、大会出場に向けての練習、大会本番、出場後と傍でサポートをする中、南砺つばき学舎の子供たちのたくさんの輝きを感じる瞬間がありました。

仲間をサポート

選手選考が終わり、大会に向けた放課後練習を始めた矢先、マネージャーとして、2人の7年生が仲間に加わりました。周回を数えたりタイムを記録したりする役を引き受け、心強いサポート体制が生まれました。選手からは、練習後に「マネさん、ありがとう」という言葉が自然に出るほど、選手と一緒にいた姿が印象的でした。

応援が力に

大会前には、応援チームで集まり、先生方も一緒になって誰とどの地点で声をかけるか作戦を立てました。当日は、前期課程の応援隊や保護者の皆さんも含めて、3kmコースのどこにいても応援の声が聞こえてくるような状況となりました。

苦戦が強いられたレースの中でも、全員が決して諦めることなく襟をつなぎ、ゴールすることができます。「いいペースだ」「ここから粘るぞ！」の声に、頷きながら走り過ぎる選手を見ていると胸が熱くなり、また違うところで声をかけたいと心が動かされ、応援する側も次の地点、次の地点へと移動していました。“応援で選手の力に”と思っていましたが、逆に選手から力をもらっていることに気が付きました。子供たちが書いた振り返りの中に、こんな記述がありました。

- ・とても緊張しました。でも、走っていたら応援の声が聞こえて、うれしかったです。
- ・みんながお互いのことをほめたり励ましたり、温かい言葉を送っていてうれしくなりました。また、応援チームも積極的に選手に寄り添っていたのがとてもよかったです。

下を向くかと思いきや、すでに前を向いて…

今回のレースでは、ほとんどの選手が練習の成果を発揮できたことに満足できた一方で、『もっと上を目指したい！』と感じていました。来年のレースに向けて、早くもスタートを切る子供たちの姿は、とても頼もしく、力強いものです。

- ・一回経験することで、次の目標が決まりました。Tさんが28位でつないでくれて、がんばろうという気持ちになりました。来年は、自分もそのような存在になりたいと思いました。
- ・今まで全力で頑張ってきてよかったですと思えました。悔しいこともあるけれど、たくさんの応援がとても力になりました。来年は、絶対にリベンジして、成長した姿を見せたいです！！
- ・走る練習が楽しかったから、これからも家でたまに走りたいです。

駅伝に向けた取組を通して、数字では決して表せない強固な心のつながりが生まれました。この経験が伝統となり、「チームつばき」の力の一つとなることを願っています。



11月の行事予定



1日（土）井口生涯学習フェスタ（一日目） 美術展示（1日午後～）	11日（火）クラブ
2日（日）井口生涯学習フェスタ（二日目） 南砺っ子商店・さつまいも販売（午前）	12日（水）交流学習（7年） 持久走大会（1～6年）
4日（火）ごみ拾いボランティア 校外学習（4年）	14日（金）アルミ缶回収、読み聞かせ メディア学習外部講演（3～9年）
5日（水）中教研学力調査（～6日） 校外学習（1、2年）	18日（火）持久走大会予備日
6日（木）研修会のため給食後11:50下校 （1～6年）	21日（金）高校説明会（9年） 教育相談（～12月2日）
7日（金）校外学習（5年）	25日（火）期末検査（7～9年）（～26日）
10日（月）集金振替日	27日（木）歯科健診 28日（金）誕生会食、委員会



- ・第21回南砺市小・中学生科学展覧会
優秀賞
- 優良賞
- ・第32回中学生清流展 清流賞・北日本新聞社賞
入選
- ・第37回呉西地区小学生バドミントン大会 次勝
- ・砺波地区中学校新人大会 バドミントン競技
 - 女子シングルス 1位 Inokuchi BS
 - 男子シングルス 1位 Inokuchi BS
 - 男子ダブルス 1位 Inokuchi BS
 - 女子ダブルス 3位 Inokuchi BS
 - 男子団体 1位 Inokuchi BS
 - 女子団体 2位 Inokuchi BS

さつまいも掘り 10月9日（木）

秋空の下、1年生から6年生までの子供たちが、さつまいも掘りを行いました。今年も地域の方々のご協力のもと、大切に育ててきたさつまいもは、一つ一つが大きく、立派に育ちました。

当日は、5、6年生が中心となって下学年の児童とペアを組み、優しく声をかけながらリードする姿が見られました。下学年の子供



たちが掘りやすいように周囲の土を丁寧に掘ったり、収穫したさつまいもを入れたかごを運んだりと、協力しながら活動する姿がとても頼もしく感じられました。

収穫したさつまいもは、ご家庭に持ち帰るだけでなく、今年も「井口生涯学習フェスタ」にて販売する予定です。ぜひ、ご家庭でも秋の味覚をお楽しみください。



「赤祖父川博物館をつくろう」（4年生）

4年生は、総合的な学習の時間に「赤祖父川博物館をつくろう」というテーマのもと、3年生と協力しながら井口地域について調べています。

子供たちは、「赤祖父川周辺の植物や動物について知りたい」「赤祖父溜池や円筒分水槽についてもっと知りたい」「井口のために頑張った人にはどんな人がいるのだろう」など、それぞれの興味・関心に応じて調べたいことを決め、本やインターネットを活用しながら学習を進めています。「吉井嘉一郎さんは、井口のためにとても頑張った人のだと分かった」「赤祖父溜池は、村人の争いが起きないように、長い年月と多くのお金をかけて造られたことが分かり驚いた」など、新たな発見を重ねています。



今後は、本やインターネットだけでは分からなかったことについて、保護者の方や地域の方に聞いたり、実際に自分の目で見て確かめたりすることを大切にして学びを深めていく予定です。

この学習を通して、自分たちの住んでいる井口地域についてさらに知識を深めたり、よさに気付いたりして、互いに伝え合うことができたらと思っています。

